

佐賀市 53 歴史探訪

ふぼでら ゆうえき 父母寺の有益さん

佐賀市高木瀬東三丁目に両足山父母寺という臨済宗東福寺派の古刹があります。そのお寺の墓地の入口に、地元「有益さん」と呼ばれている大きな石像が祭られていることを皆さんご存じでしょうか。

今回は、この「有益さん」と呼ばれる石像についてご紹介します。

この石像は安山岩製の僧侶像で、像の高さは1.5mほどあります。全体的にふっくらとした顔立ちや体形に彫られていて、手をお腹の前で組み、袈裟が線彫りで表現されています。また、背面には「預修善根仙叔明鶴今泉有益禅庵主寿位、慶長二十年(1615年)二月吉祥日」という銘が刻まれています。

この像がどのような目的で建立されたのかははっきりしたことは分かっていませんが、地元には「父母寺の住職の像ではないか」「墓守をしていた人物の像ではないか」などいくつかの説があるようです。

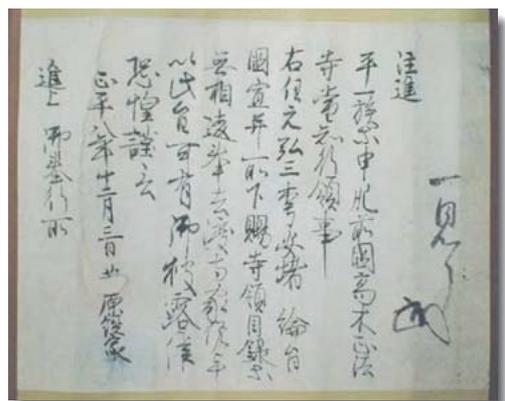
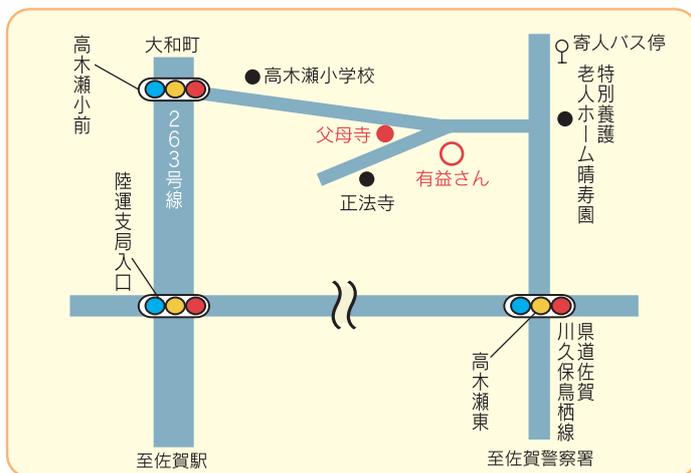
「有益さん、有益さん」と人々に親しまれ、大切に守り継がれてきた石像、一度ご覧になられてはいかがでしょうか。



▲父母寺墓地



▲有益さん



▲佐賀県重要文化財「正法寺文書」



▲佐賀県重要文化財「正法寺所蔵大般若経」

一口メモ 父母寺の南西にも、高木山正法寺という臨済宗東福寺派の古刹があります。このお寺は中世この一帯に勢力を誇った高木氏の菩提寺で、このお寺に伝わった「正法寺文書(※1)」や「大般若経(※2)」は佐賀県重要文化財に指定されています。

(※1)は現在、県立図書館に寄託

(※2)は現在、県立博物館に寄託